

1. 地区の概況

図1 地区の位置

*地形図は国土地理院 基盤地図情報(数値標高モデル)5mメッシュにより作成



表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	平成20	平成25	平成30	平成20 ~25年	平成25 ~30年	平成25 年比率	平成30 年比率	平成30年 区平均	平成30年 市平均
人口 (人)	27,757	27,189	26,132	▲ 568	▲ 1,057	100.0	100.0	100.0	100.0
0~14歳人口 (人)	3,109	2,999	2,813	▲ 110	▲ 186	11.0	10.8	11.6	12.4
(内0~5歳) (人)	1,117	1,143	947	26	▲ 196	4.2	3.6	4.1	4.7
15~64歳人口 (人)	18,243	16,399	14,696	▲ 1,844	▲ 1,703	60.3	56.2	59.5	63.4
(内20~24歳) (人)	1,614	1,391	1,244	▲ 223	▲ 147	5.1	4.8	5.3	5.3
(内25~39歳) (人)	5,140	4,404	3,631	▲ 736	▲ 773	16.2	13.9	15.1	17.8
65歳以上人口 (人)	6,791	7,791	8,623	1,000	832	28.7	33.0	28.9	24.2
(内65~74歳) (人)	3,864	4,103	4,201	239	98	15.1	16.1	14.8	12.1
(内75歳以上) (人)	2,927	3,688	4,422	761	734	13.6	16.9	14.1	12.1
世帯数 (世帯)	11,789	12,098	12,186	309	88				
平均世帯規模 (人/世帯)	2.35	2.25	2.14					2.29	2.10

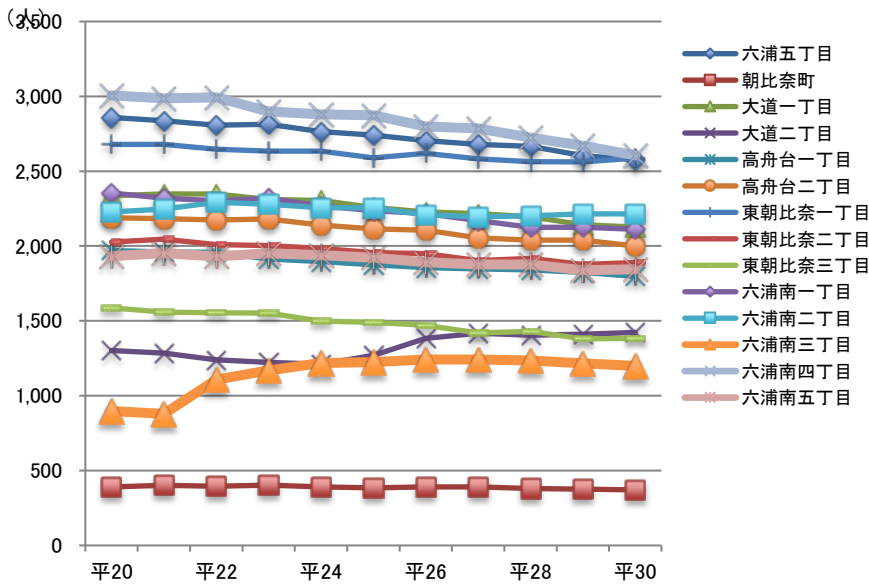
*「町別世帯と人口」、「町別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在

*人口等の統計データは町丁目を単位に集計されたデータを活用しています。

*町丁目の境界線が複数の区域にわたる場合は、町丁目の区域を単位としていずれかの区域に含まれるものとして集計しました。

2. 町丁別人口世帯の動向 *「町丁別世帯と男女別人口」による。各年9月末現在

図2 町丁別人口の動向



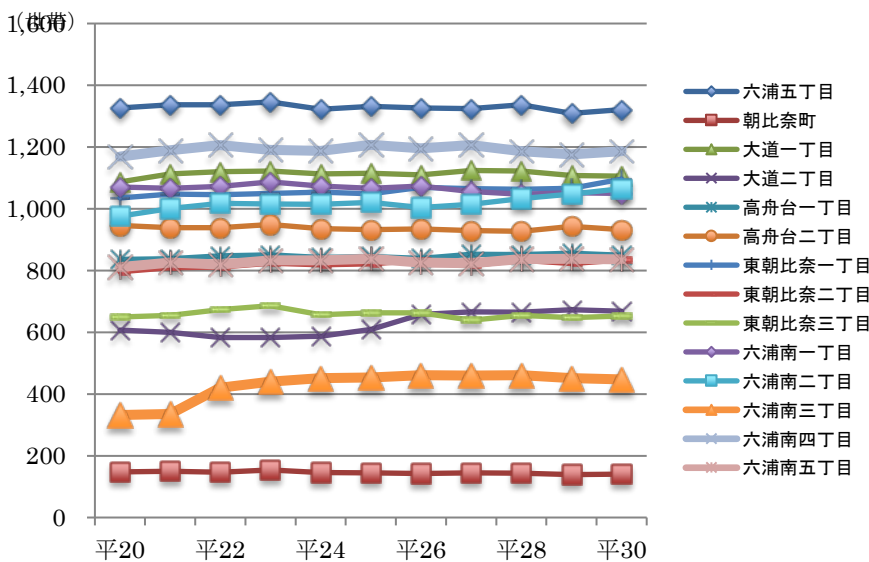
六浦西地区には、平成30年9月現在約26,130人が暮らしています。世帯数は約12,190世帯、平均世帯規模は2.14人/世帯です。(表1参照)

平成25～30年の期間で見ると、人口は、減少が続いており、減少の傾向も強くなってきています。

世帯数は増加になりました。

世帯規模は縮小する傾向が続いており、平成30年の平均世帯規模は市の平均(2.10人/世帯)に近く、金沢区の平均(2.29人/世帯)より小さくなっています。(表1参照)

図3 町丁別世帯数の動向



平成30年時点の65歳以上の人口比率(高齢化率)は33.0%で区平均(28.9%)を大きく上回っています。高齢化率は5年間で約4.3%上昇しました。

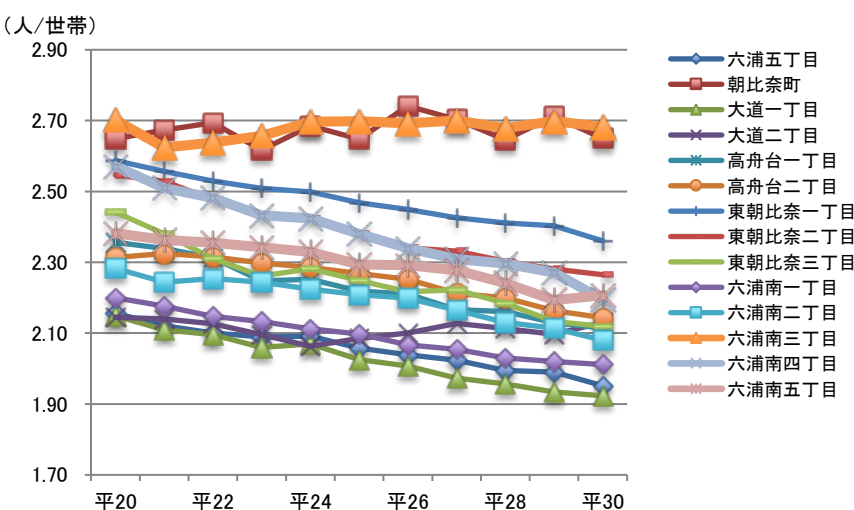
0～14歳の人口(年少人口)は減少が続いていますが、比率は安定しています。

15～64歳の人口(生産年齢人口)は減少が続いています。比率も低下しました。(表1参照)

六浦西地区には14町丁が含まれています。

大道二丁目と六浦南三丁目では人口、世帯数の増加がみられる他は、各町丁とも人口は緩やかな減少、世帯数は安定又は微増になっています。(図2,3参照)

図4 町丁別平均世帯規模の動向



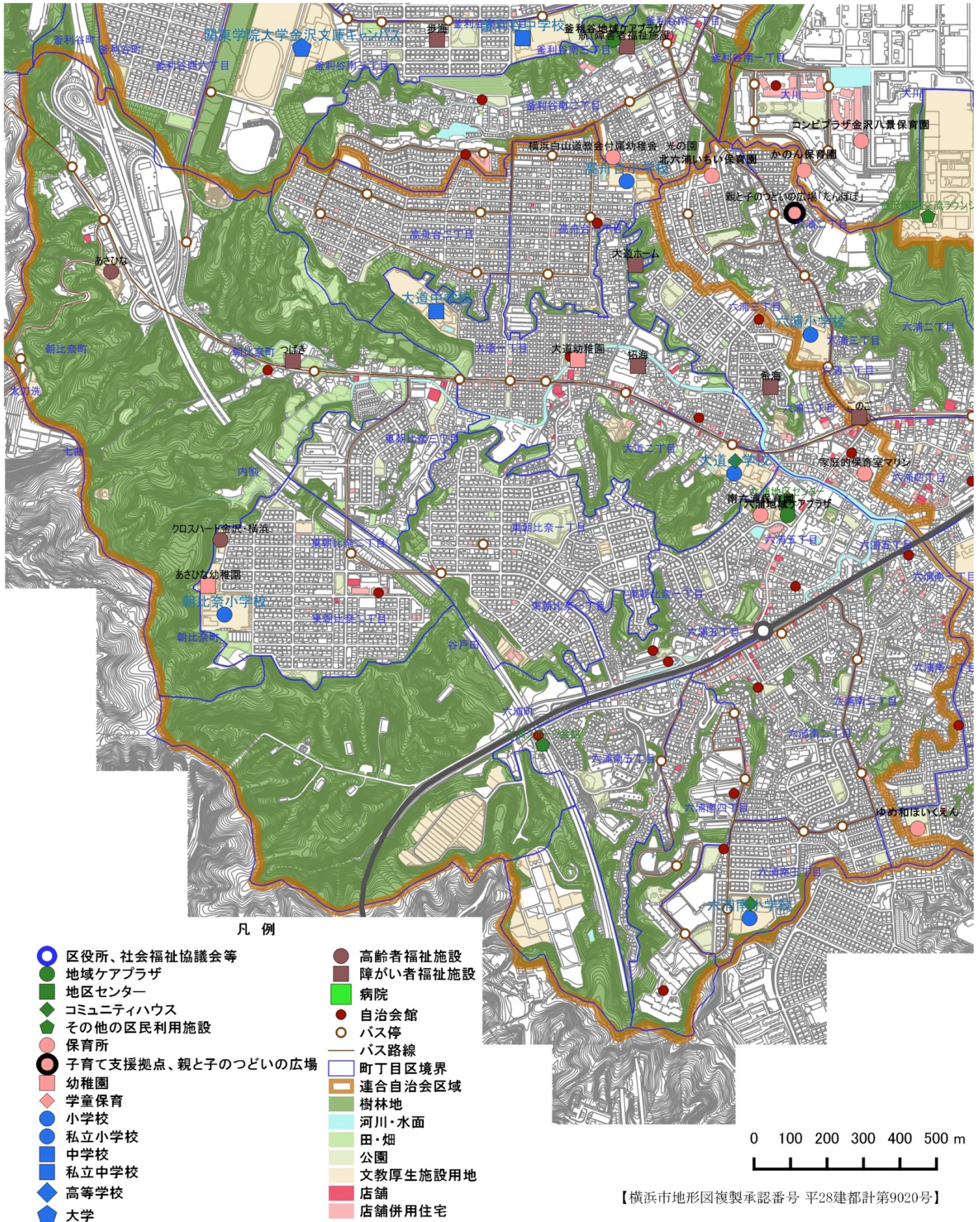
朝比奈町、六浦南三丁目の平均世帯規模は概ね2.7人/世帯前後で地区の他の町丁と比べて大きく、安定しています。

他の町丁はいずれも世帯規模は2.5人/世帯以下で、縮小傾向が続いています。(図4参照)

3. 地域の施設等の分布状況

図5 地域の施設等の分布状況

*土地利用現況、建物用途現況は、横浜市都市計画基礎調査結果による。
 *施設の位置は、金沢区オープンデータ等による。



4. 年齢別人口と人口移動

*年齢別人口は「町別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在
 *移動人口は平成13～28年の人口移動集計結果による

図6 年齢5歳別の人口の変化

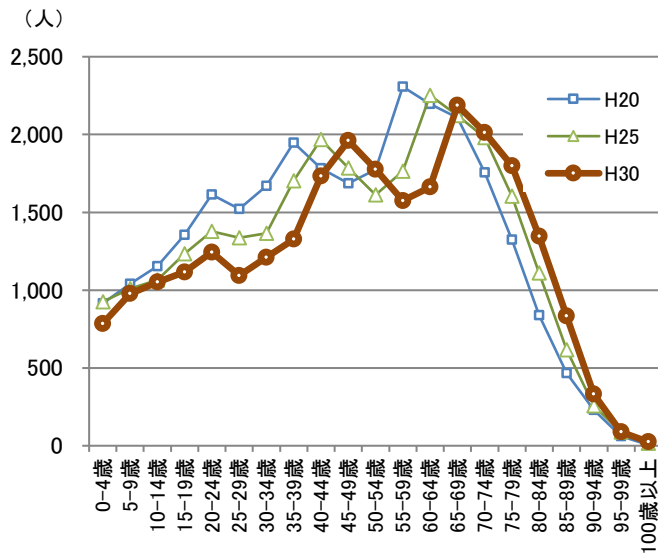


図7 年齢5歳別の人口の推移率

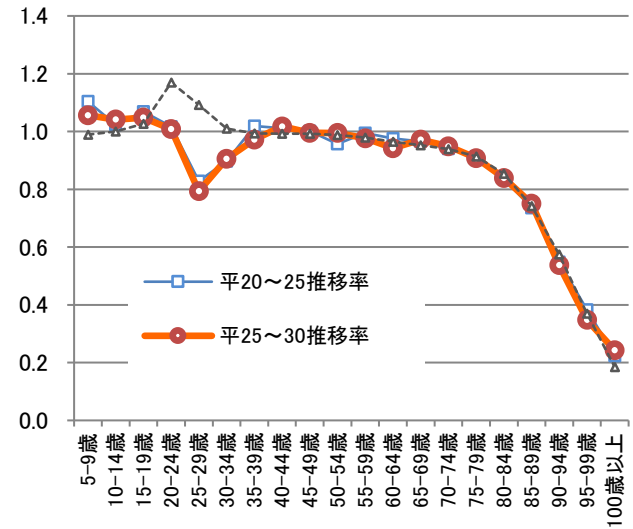
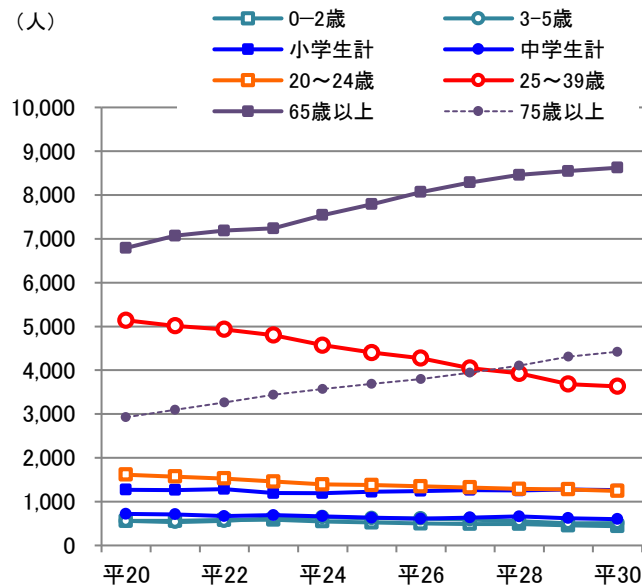


図8 年齢別人口の変化



*推移率: 上記の場合は、年齢5歳階級人口の各階級の人口が、死亡、転出入によって5年後に1階級高齢の人口になる割合

六浦西地区の年齢5歳階級の年齢別人口は、現在65～74歳と40歳代後半が多くなっています。(図6参照)

年齢5歳別人口の推移率をみると、25～34歳に転出による減少傾向が続いていることがわかります。(図7参照)

人口移動は、平成21年以降は毎年1,500人程度の転出入があり、近年は転入・転出が均衡しています。

(図9参照)

年齢別社会移動の動向をみると、20～34歳にあった転出超過が少なくなり、各年齢別の転出傾向が弱まってきていることがわかります。(図10参照)

図9 人口移動の動向

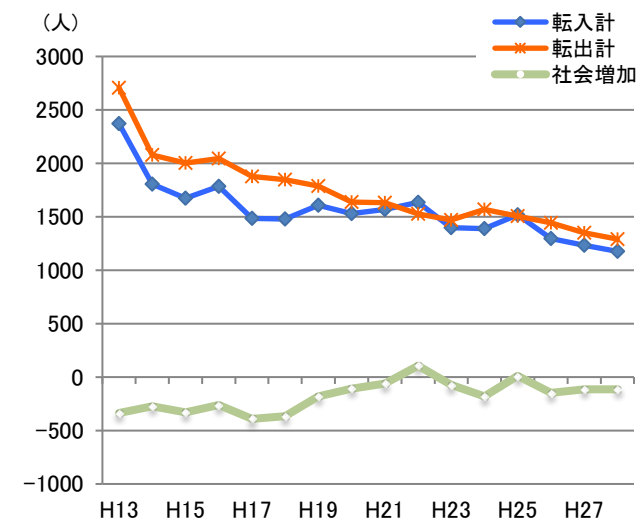
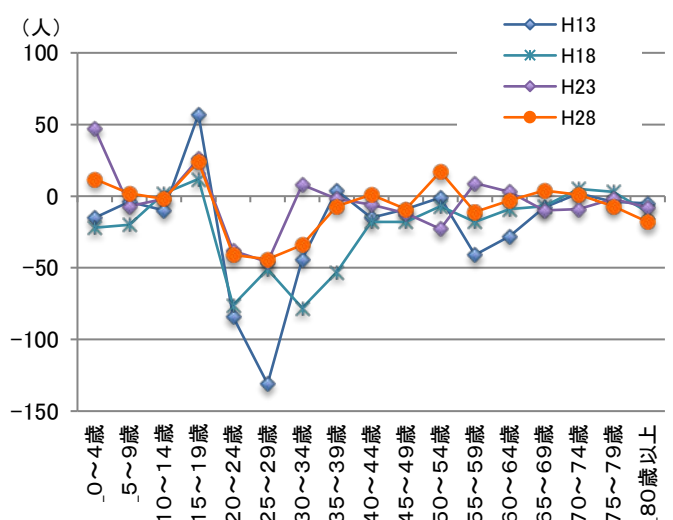


図10 年齢5歳別社会移動人口の動向



5. 世帯の状況と居住歴

*各年「国勢調査」結果による

図 11 6歳未満の子どもがいる世帯の動向

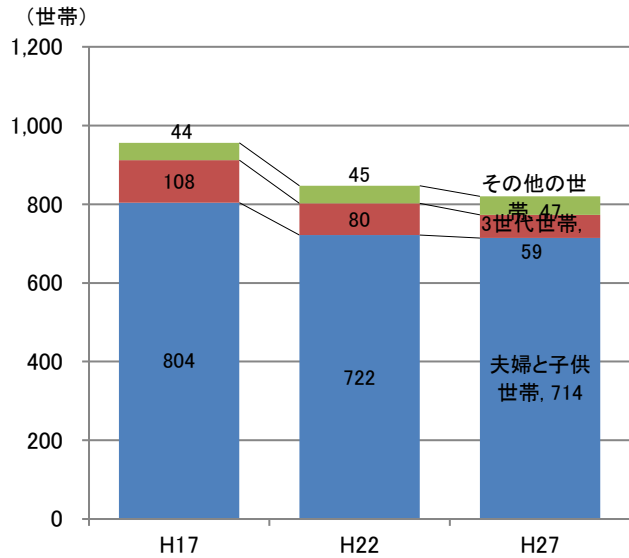


図 12 65歳以上の高齢者がいる世帯の動向

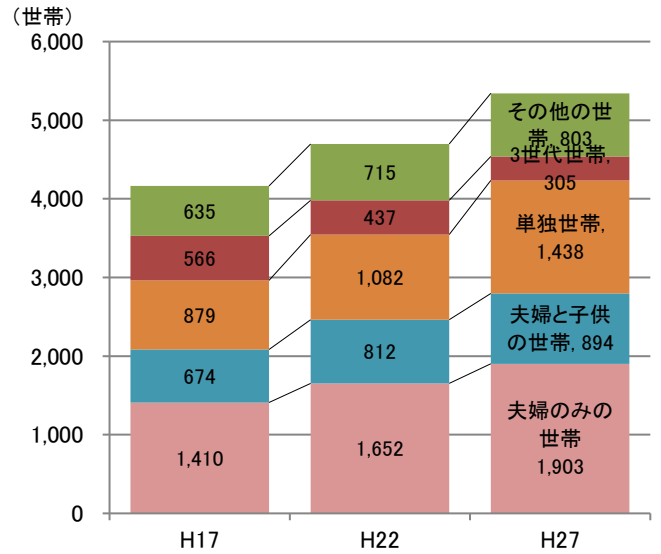


図 13 住宅の所有関係別の世帯の動向

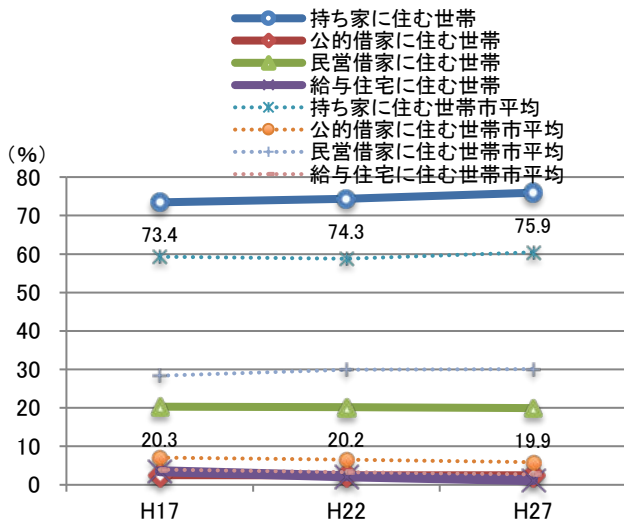


図 14 住宅の建て方別の世帯の割合

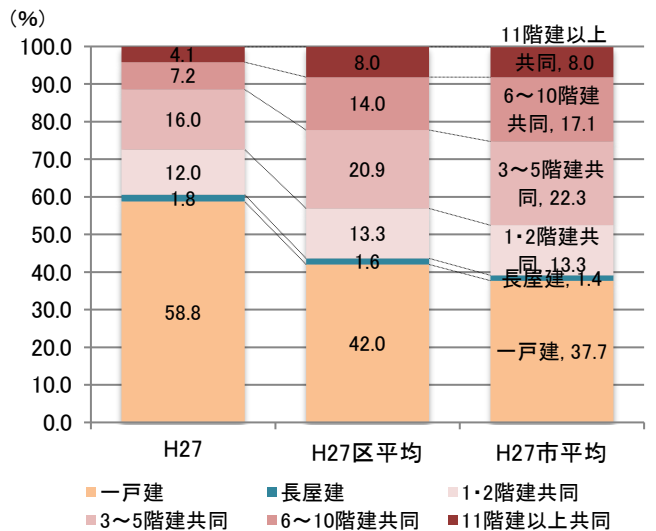


図 15 規模別世帯の動向

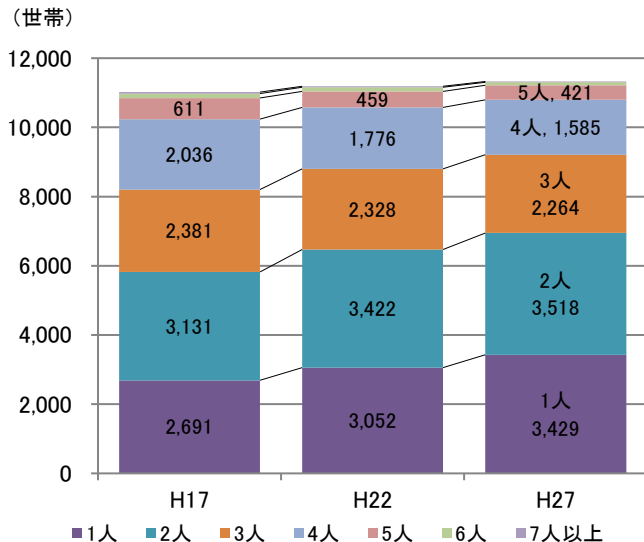
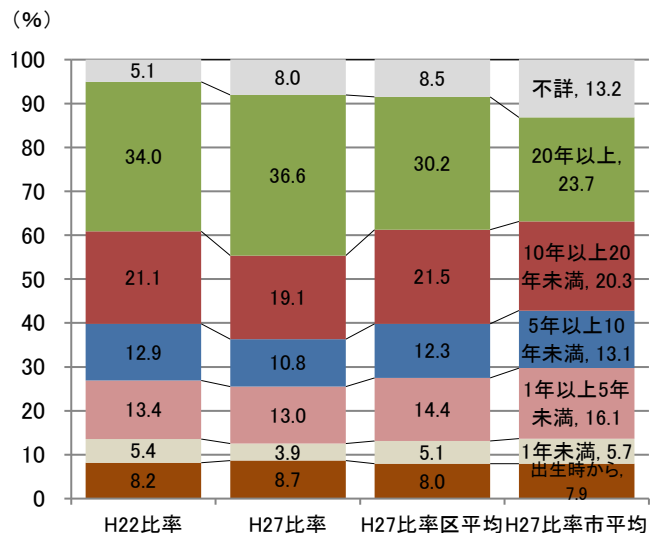


図 16 居住歴別人口の割合



6. 65歳以上の高齢者のいる世帯、要介護認定者数

表2 高齢者のいる世帯の状況 (H31)

	高齢独居世帯数(男性高齢者)	高齢独居世帯数(女性高齢者)	高齢者のみ世帯数(単身世帯除く)	高齢者を含む世帯数(高齢者と高齢者以外で構成)
世帯数(世帯)	748	1,675	2,073	3,919
対世帯総数比率(%)	6.1 (区平均 4.8)	13.7 (区平均 11.7)	17.0 (区平均 14.3)	32.1 (区平均 26.9)
対高齢者のいる世帯数比率(%)	19.1 (区平均 17.9)	42.7 (区平均 43.4)	52.9 (区平均 53.2)	100.0

*横浜市資料による。2019年3月時点。世帯数は住民基本台帳による

*高齢独居世帯は65歳以上の方1名で構成される世帯

*高齢者のみ世帯は、65歳以上の方のみで構成される2名以上の世帯

*高齢者を含む世帯は、65歳以上の方と、65歳未満の方で構成される2名以上の世帯

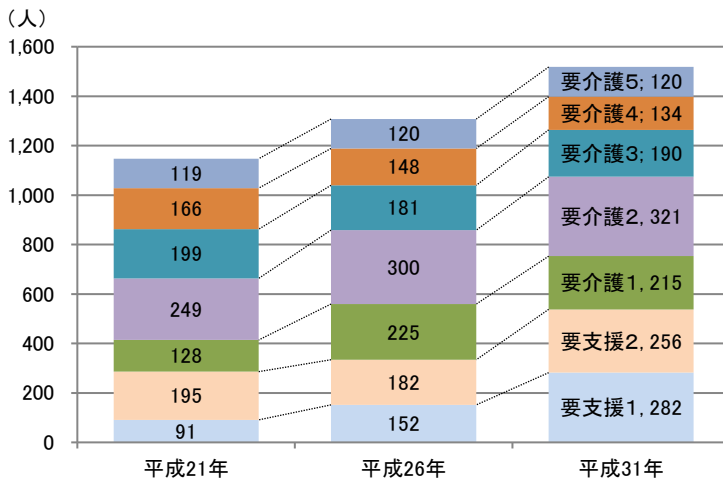
表3 要介護認定者数 (H31)

	計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
要介護認定者数(人)	1,518	282	256	215	321	190	134	120
人口比(%)	5.81	1.08	0.98	0.82	1.23	0.73	0.51	0.46
人口比区平均(%)	4.70	0.73	0.64	0.74	1.00	0.61	0.58	0.40
要介護認定者総数比(%)	100.00	18.58	16.86	14.16	21.15	12.52	8.83	7.91
区平均(%)	100.00	15.46	13.69	15.82	21.31	12.93	12.34	8.45

*要介護認定者数は、金沢区資料による。平成31年3月末時点

*地区別人口は、「町丁別の人口(住民基本台帳による)」により集計。平成31年3月末時点

図17 要介護認定者数の動向



*各年、要介護度別認定者数は金沢区資料による。

7. 地区の特徴と動向

六浦西地区は侍従川に面した平地と台地上に開発された住宅市街地です。地区内を東西に環状4号線が通っています。また、地区内を京急逗子線が通り六浦駅があります。

戸建て住宅が多く、地区内に住む約59%の世帯が戸建て住宅に住んでいます。1・2階建ての共同住宅や中高層の共同住宅に住んでいる世帯もあります。(図14参照)
 持家に住んでいる世帯が約75.9%で最も多く、民営の借家に住む世帯は約20%あります。(図13参照)

居住期間が長い人が多くなっています。平成27年時点で、居住期間が「10年～20年未満」(約19%)と「20年以上」(約37%)の比率は合計すると約56%になります。「20年以上」の人が多いのが特徴です。(図16参照)

6歳未満の子どもがいる世帯の減少が続いています。6歳未満の子どもがいる世帯は平成27年で820世帯で、世帯総数(約11,330世帯)の約7%を占めています(区平均は約8%)。このうち約87%が核家族です。(図11参照)

65歳以上の高齢者がいる世帯は増加が続いています。特に高齢者の単独世帯、高齢者の夫婦のみの世帯の増加が目立ちます。
 平成27年で高齢者のいる世帯数は約5,340世帯で、世帯総数の約47%を占めています。区平均を上回っています(区平均は約41%)。このうち、高齢者の夫婦のみの世帯は約36%、高齢者の単独世帯は約27%です。(図12参照)

平成29年時点の高齢者のいる世帯の比率は約49%で、区の平均(約43%)を上回っています。(表2参照)
 また、要介護認定者の人口比率は約5.5%で、区の平均(約4.7%)を上回っています。(表3参照)

現在は、20歳代の減少があるため、緩やかな人口減少が続いています。(表1、図7参照)
 現在の年齢5歳別の人口の変化の傾向が続くと、地区の世帯規模がまだ比較的大きく子供の独立などによる世帯分離が続く可能性が残っていることから、今後も緩やかな人口減少が続きます。(表1、図4参照)

現在、地区内で最も多い年齢層は60～70歳代になっており今後高齢期に入る人口が少なくなることから、高齢者の増加傾向は今後弱まる可能性があります。(図16参照)
 現在75～79歳の人口に比べ今後75歳以上になる60～74歳に人口が多くなっているため、75歳以上高齢者の増加は続くと考えられます。(図16, 18, 19参照)

図18 人口の動向と推計

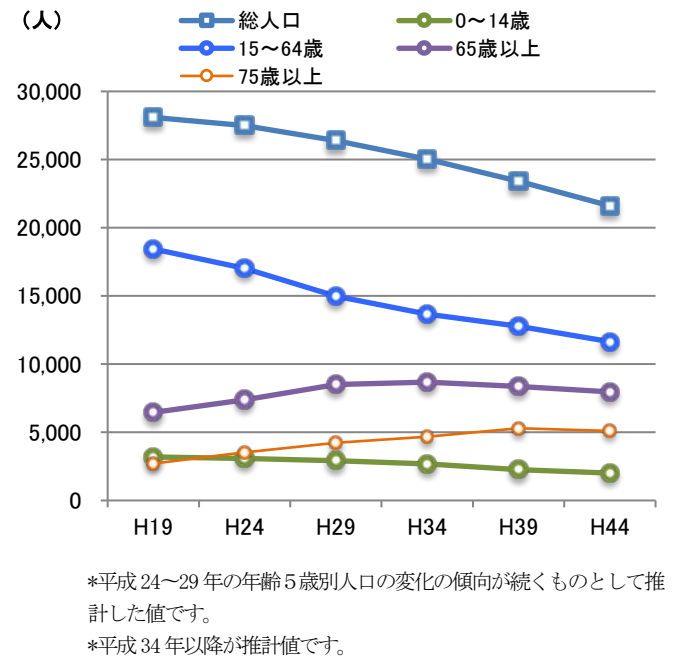


図19 人口の動向と推計 年齢別比率

